

2025年12月17日
愛管株式会社

【浜松市 企業敷地初】愛管(株)、「自然共生サイト」認定を取得

浜松市で主として管工事業を営む愛管株式会社(代表取締役社長:中村 将義、本社:浜松市浜名区)が運営する複合コミュニティエリア「連理の木の下で」(同所)は、環境省の「自然共生サイト」に認定されました。県西部および浜松市内では初の認定です。当社はこれまで管工事業を通じて「安心・安全な暮らし」を支えてきましたが、気候変動や生物多様性の喪失が進む昨今、インフラ企業にはESGに寄与する役割も求められています。

この認定をきっかけに、当社は「水を繋ぎ、土を育む、未来のインフラを作る会社」を目指し、自然と経済を両立させる「次世代の社会インフラ」に向けて、2つのプロジェクトを始動します。

1. 認定の概要について

認定サイト名	人と人を結び、心地よい時間と空間を創造するコミュニティーエリア「連理の木の下で」
所在地	浜松市浜名区都田町 8501-2
サイト面積	1.3ha
サイトの価値	有機農業や食農保育を通じた生態系サービスの提供と、在来種を中心とした生態系
概要	<ul style="list-style-type: none"> 本サイトは広大なエリアで管工事業、レストラン、カフェ、農産物加工工房、農園、認可保育園等多様な事業を営んでいます。その中心となる農園では有機農業による生態系に配慮した環境に優しい農業を行っています。その取組に連動し、サイト内の保育園では、園児とともに野菜を育て、食や生態系の大切さを学ぶ「食農保育」を実践しています。 また農園で収穫した野菜はレストランやカフェで提供され、生態系に配慮した食農の一連の流れを体感することができます。また、本サイトは地域のコミュニティ形成の場として、マラシェ等の開催を通じて地域住民の憩いの場としても愛されています。

2. 今後の取り組みについて

○愛管は本業の管工事を通じて清潔な水を届け、人々の「安心安全な暮らし」を支えてきました。この軸を保ちながら、有機野菜の栽培・提供やレストラン・保育園運営など、暮らしに近い多様な事業へと展開してきました。

○今回の自然共生サイト認定は、本社敷地で続けてきた農業・保育・飲食事業などの取組が生態系保全に寄与していると評価されたものです。浜松市内で初の認定企業として、市や静岡銀行・静銀経営コンサルティング、スタートアップ含む企業と連携し、サイトを起点としたネイチャーポジティブの情報発信を進めてまいります。

○浜松市が実施する「はままつネイチャーポジティブパートナーシップ協定」の枠組を通じ企業と連携した取組を推進します。サイトを活用した研修実施や視察受け入れを通じて生物多様性への機運醸成にも取り組みます。

○○これらを踏まえ、当社は「水を繋ぎ、土を育む、未来のインフラ会社」を目指し、「雨水活用×IoT」を組み合わせたグリーンインフラなどの次世代型水資源循環モデルの実証と、学生や地域住民が主体的に関わる「地域クラブ」を軸にした次世代育成モデルという2つのプロジェクトを掲げ、「水と食に満たされ、豊かさが巡る社会」を実現します。

